

いいまち 議会だより



《6月定例会》

平成26年度予算補正を承認

若者住宅に9戸の空室・半数は定住 …… ② ▶ ③

11人が論戦(一般質問) …………… ⑥ ▶ ⑩

追跡 あれどうなった …………… ⑩

町民の声を議会に
傘山からまちおこし
議会だよりクイズ(応募待ってます) …………… ⑩

第66号 平成26年7月15日

発行：長野県飯島町議会

おもてなしに汗(南駒里山クラブ)

当初予算に計上すべきでは

平成26年6月定例会は、9日から17日まで9日間の会期で開催。町提案の補正予算7件・条例5件・契約変更承認1件を審議し、全員一致で即日承認・可決しました。社会文教委員会に付託した請願2件と、総務産業委員会継続審査になっていた陳情1件を本会議で採択し、議員発議による意見書3件を可決しました。また一般質問は11人が町政をたどしました。



工場進出を待つ用地

専決処分の承認

町条例2件、決算に伴う6会計補正予算、契約変更を全員一致で承認。

◆町税条例の一部改正
地方税法の改正に伴うもの。
問 軽自動車税が上がり滞納が心配されるが対策は。
答 結果を見て対応。

◆町国保税条例の一部改正
右に同じ。

◆平成25年度一般会計
総額を2206万円増額。基金に900万円を積み立てた。土地開発公社に3000万円の補助金。

◆土地開発公社の損失補填は、安易に専決処分すべきではなく、計画性をもって当初予算に計上すべきでは。
答 今後は十分留意する。

◆国民健康保険特別会計
2233万円増額

条例改正

町条例3件を全員一致で可決。

◆町消防団員退職報償金支給条例の一部改正
関係法律施行令の改正に伴う退職金増額。

◆介護保険特別会計
4661万円減額

◆公共下水道事業特別会計
900万円減額

◆農業集落排水事業特別会計
1100万円減額

◆町消防団員公務災害補償条例の一部改正
関係政令の改正に伴うもの。

◆町障がい者支援センター設置条例の一部改正
地域活動支援センター「やすらぎ」移転に伴うもの。

若者住宅9戸が空き

退去者の半数は町内に定住

一般会計補正予算

全員賛成で可決

2239万円の増額補正 ▶ 総額44億4856万円に

おもな補正財源

おもな使いみち

- ◆経営体育成支援事業補助金(県) 576万円
- ◆宝くじ助成金 880万円
- ◆公共建物共済金 972万円
- ◆地域海洋センター修繕助成 減額900万円 など
- ◆経営体育成支援事業補助金 576万円
- ◆コミュニティ助成・防災組織育成事業 680万円
- ・荒田 獅子舞備品
- ・田切 運動会備品
- ・本郷 テント
- ・追引 防災倉庫など
- ◆体育施設予約システム構築 500万円

質疑

◆B&Gプール
改修工事 減額1920万円

◆B&G上屋災害復旧工事 972万円 など

問 町営住宅の管理状況は。
答 町営住宅空き室全27戸。うち若者向け住宅9戸。退去者の半数が町内に定住、半数は転出。

請願・陳情の審査結果

内 容	提出者	付託	本会議結果
労働者保護の法整備を	連合上伊那	総務継続審査	採択 賛成9－反対2 意見書提出 反対 向きに合った働く形態の自由を奪ってはならない。 賛成 不安定な雇用形態や長時間労働を助長させてはならない。
35人以下学級推進・教育予算増を	飯島町公立学校教職員組合	社文	採択 賛成11－反対0 意見書提出
義務教育費国庫負担の堅持	飯島町公立学校教職員組合	社文	採択 賛成11－反対0 意見書提出

着実に進む治山・治水事業

ふだんは目に入りにくい治山・治水事業の現場を6月13日に視察しました。

林道辰巳ヶ沢入線

もろくなった法面の岩石を取り除いてコンクリートを吹き付けます。7月下旬には竣工の予定です。

民有林直轄
治山事業

三六災害で生じた溪流荒廃が、国の直轄事業で修復されてきました。林地も回復して目標達成と判定され、通ヶ沢が完了すれば、本年度末で事業終了となります。

中田切溪流
保全工事

中田切川の川床浸食を防ぐため、帯工（川を横断するコンクリートの床）を建設中です。100m間隔で4基。年内完成を目指しています。



いまにも落ちそうな岩石



最後に残った通ヶ沢現場



工事中の帯工

北河原仮設上水道

バイパスの橋脚（田切野球場西）が上水道の本管に当たるため、仮設の配管で迂回する国の事業です。

農振地域のあり方を考える時では
農業委員と勉強会

恒例の農業委員会との懇談会を6月17日に行いました。

4月に農業委員選挙があり、委員16人のうち12人は新任。今回は「地域複合営農にどう関わるか」を懇談のテーマに掲げました。町農業の歴史を振り返り、国の新たな農業農村政策を勉強し、活発な意見交換をしました。

中山間地の経営的に不利な農地が問題だ。農振地域の見直しの必要が出てきている。
担い手法人が抱えている問題は、

万全な子育て環境を

病児保育施設とは

「のどかクリニック」の野々村院長から病児・病後児保育の提案を受け、4月に院長や関係職員との懇談会を開催しました。

子どもが感染症などで保育園に行くことができないくなり、両親も仕事などで休めない時に預ける施設です。保育士・看護師が、子どもの状態に合わせた適切な保育看護を行います。

万円を町が負担。国の保育対策促進事業補助金をおおむね2分の1受けられます。
平成25年度登録者303人、利用延人数692人で箕輪町と南箕輪村が共同実施。平成26年度は辰野町も加わりました。



上伊那医療生協での説明会

箕輪町上伊那医療生協「いちごハウス」の病児保育は、1歳から小学3年生を対象としています。平日の午前8時から午後6時まで、定員は1日6人。利用料は1日3000円＋食事250円＋おやつ50円（保育園児は無料）。予約は電話で前日まで。利用する場合、事前登録が必要です。



親も安心、こどもも安心

昭和伊南総合病院では病院関係者の院内保育の現状を視察しました。

採 択

請願 国へ

義務教育費の堅持

◆ 内容

教育費国庫負担を堅持し、3分の1から2分の1へ戻すことを求める。

賛成

少子化対策が国策である今、教育費の国負担は全額でも良い。

提出者
飯島町教職員組合 大平美夏氏
紹介議員
坂本紀子

賛成5 反対0

採 択

請願 国へ

35人学級の推進

◆ 内容

国の責任において、35人学級の推進と教育予算の増額を求める。

賛成

県では既に実施しており効果がある。国全体で均等にすべきだ。

提出者
飯島町教職員組合 大平美夏氏
紹介議員
坂本紀子

賛成5 反対0

採 択

陳情 国へ

労働者保護の法整備を

反対

これから審議会にかけられるので、見守る必要がある。

賛成

中小企業の現実を見ると、安心して働ける環境が経済成長のためにも必要。

提出者
連合上伊那 北澤洋二氏

賛成4 反対1

◆ 内容
・「解雇の金銭解決」などを導入しないこと。
・派遣労働者を直接雇用に導くこと。
・労働政策を政労使で審議すること。



北沢 正文

行政制度

基本情報が不足では あらゆる手段で努力 町長

問 『税金が高い・土地取得情報に対して「〇〇だろう」的な思い込みを排除するよう工夫していく。』

町長 アンケートに答える側が、情報を持っているか否かで答が変わる。どう工夫し、理解度を推測するか。

町長 いろいろな場面での、町民の考え方・意見・反応を参考にしている。

問 住民参加・協働のまちづくりの基となる行政の理解度をどう評価し、どう進めるか。

町長 町の行政運営執行は、原則公開という姿勢で行っている。町民がどう受け止めているかの把握が必要と考えている。

町長 第5次総合計画、後期基本計画策定にあたり、アンケートなどで調査する。

問 住民登録している人のみでなく、町内企業で働いている人も住民として、ご縁を大切にしていくことはどうか。

町長 飯島町から他のまちに行っている場合も同じことであるが、ご縁を大事にしていくことは大切。

町長 若い皆さんの定着・人口増のため、地元で勤められるようなサイ



具体的な被害想定を

問 暮らしの便利帳の発行により、行政に対する関心度・理解度を高めることはどうか。

町長 行政が発行する際には、制度の変更についていけないという課題もある。

町長 民間活用は県下にも例があるのでいろいろな面で検討したい。

問 東海地震での被害は、避難者571人・けが人181人・重傷者9人と想定されている。これを基に具体的な訓練を行い、問題・課題を明らかにすることが必要と思うがどうか。

町長 当然被害想定をイメージした訓練でなければならぬ。

町長 総務課長 備蓄品の整備など取り組める部分から行う。訓練は今後検討する。

〔以上2件質問〕



久保島 巖

若年女性減

町は消滅しないか

国が本腰を入れて対策を 町長

問 5月発表の日本創成会議2040年人口推計で、町は郡下で唯一消滅の危機にある市町村に入った。

町長 リーマンショックの影響であり、そのままの数字が現実とはならない。しかし、この報告を将来の人口動向・町の存続に大きな警鐘を鳴らしていると受け止めている。

町長 国が本腰を入れ対策を講じ、自治体・地域と連携の中で手を打って行くべきだと思う。

町長 若年女性の働く場所を確保する必要がある。役場もワーキングシエアなど率先して取

町長 女性だけで気楽な話し合いの場を設けたらという提案だが、結構なことだと思う。提案は受け止め、手法

町長 若い女性の意見を聞くため、中高生・20代30代の女性に集まってもらい、懇話会などを継続的に開催したらどうか。町長や課長は顔を出さずに、若い女性職員を担当にした方がよい。

町長 女性だけで気楽な話し合いの場を設けたらという提案だが、結構なことだと思う。提案は受け止め、手法

町長 若い女性の意見を聞くため、中高生・20代30代の女性に集まってもらい、懇話会などを継続的に開催したらどうか。町長や課長は顔を出さずに、若い女性職員を担当にした方がよい。

町長 女性だけで気楽な話し合いの場を設けたらという提案だが、結構なことだと思う。提案は受け止め、手法

町長 若い女性の意見を聞くため、中高生・20代30代の女性に集まってもらい、懇話会などを継続的に開催したらどうか。町長や課長は顔を出さずに、若い女性職員を担当にした方がよい。

町長 女性の職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。

町長 女性は職場づくりが大切だと考えているが課題もある。動向を把握しながら必要な手を打っていかねばと思っています。



活性化待たれる中心街

町長 越百づくり会議や地域医療・福祉を担う医療生協の活性化には、町も出来る支援や協力をしていかなければならない。そこにも隊員の位置づけがある。まちなか活性化を主体にした活動の中で、町全体の活性化に対し、お手伝いしてもらいたい。

福祉タクシー券の 適用拡大を

問 今年度から拡大された福祉タクシー券事業だが、一部に不公平感を生んでいる。更に日中独居高齢者の対象を月々金の移動手段が無い人に拡大しては。健康福祉課長 情報を得ながら、今後充実したものになるよう、また公平性が保たれるよう検討したい。

〔以上3件質問〕



坂本 紀子

教育委員会

制度改革への所見は

政治的中立を守る 教育委員長

教育委員長
教育の政治的中立性を守る。住民の声を届ける立場として、積極的に発言し提言し



教育委員会定例会

問 施設の補修費負担はどうなるのか。
町長 建物は町の財産となるので、根幹に係る部分は「花の里い

産業振興課長 国道153号バイパスと竜東線の交差点に建設。建物は「花の里いじま」の半分以下の大きさ。駐車場は普通車52台・大型車7台の予定。

障がい者グループホームの設置を

問 これまでも設置を要望してきたが検討状況は。
町長 現在、知的・精神障がい者8人が町外

問 町が補助し、全給食米を自然共生米にしているかどうか。
教育委員長 経費の課題・定量確保の課題・生産者間に不公平が生じるイベントの時には提供したい。

給食に自然共生米を

問 コーディネーターの件はどうなったか。
教育次長 学校給食の献立検討委員会に今年度から生産者の代表も加わった。この会で検討したい。

廃屋対策の取り組みは

問 国では空き家対策推進の特別措置法制定の動きがある。町の現状と考える。
町長 平成22年度に耕地・自治会長からの情報提供で空き家調査を実施。平成25年度に現地調査をした。200棟の空き家があり、約1割が廃屋の状況。改めて全町に適正管理を呼び掛け、必要に応じて除却の要請を行う。国の状況をみたく、条例整備を研究していく。

〔以上5件質問〕



中村 明美

保育料

軽減制度見直しを

更なる支援を考える 町長



保育環境の充実を

感じてもらうようにしたい。昨年、スポーツ連絡協議会で、柳沢運動プログラムを背景とした小中幼児期の指導講習会を行った。今年も田切体育館で講習会を計画している。

「旧「スモ」空き地活用」にどう関わるか

問 町長が「越百づくり会議」の会長となつた経緯と、町の責務は。
町長 この会議が、町をあげて活性化に取り組む姿勢を皆で考えるという上でも、町長がトップを、との要請があり会長を受けた。行政の組織上の取り組みにはならない。側面支援はしていく。

昭和伊南病院への取り組みは

問 町の医療機関と昭和伊南病院との連携を密にしていこう働きかけを。
町長 地域の基幹病院としての役割を更に担っていくよう町も前向きに取り組みたい。同時に1次・2次・3次医療のすみ分けを図る中で、これまで同様に町内医療機関との連携・協力をお願いしていきたい。

スピード感ある浸透を

問 「まちおこしソング&ダンス」が町民に浸透し、目標である「まちおこし」にスピード感を持つてつなげることが大切。4区の個性を発揮しつつも、全町民一体の絆を深めることが目的。今後の取り組みは。
町長 11月1日の産業祭に橋幸夫さんに来てもらい、お披露目をする計画。また、グループ単位の小さな輪から町全体に広がって、歌って踊って楽しむことで、健康と幸せづくりへ進むよう期待している。

〔以上4件質問〕

問 当町の保育料軽減制度は上伊那では一番だと思ふ。しかし近隣の松川町を見ると、出生祝に商品券贈呈。保育料は、第3子以降同時入園に関係なく無料である。この内容に子育て世帯は敏感に反応している。乳幼児の子育て世代は主に若年層で収入は少なく、子どもを多く望めない。
国も保育料無料化の方向で検討している。保育料軽減と出産祝い金制度化の考えは。
町長 今後は結婚・出生率の向上も求められている。出産祝い金も含め、保育料制度の内容も更に上乘せし、総合的に次の施策を考えていく。

問 乳幼児の親御さんから「おさんぽ喫茶」が欲しいとの声がある。時代に沿った環境づくりが大切だ。そこでは、子どもを見ながらお母さんたちがおしゃべりやお茶を楽しみコミュニケーションがとれる。場所は、親子で本に触れる機会がもて、子育て環境に望ましい文化館内、または図書館隣接を考えるがどうか。
町長 これからはそのようなサポートも必要と思うので、十分検討し提案も聞いていきたい。

問 県は、運動の苦手な子どもへのきめ細かな指導を行い、全ての子どもへの体力向上を図る事業を推進している。町の取り組みは。
教育委員長 先生たちには保育における有用性を

ていきたい。

教育委員長 法改正が急激であり、十分議論を重ねた上でなされるべき。

問 個人情報に触れない範囲での議事録の公開、一般住民・教育関係職員との交流など実践的運営を求めるが。
教育委員長 会議の開催日時を公示、傍聴も許可してきた。学校運営協議会制度の中で進めていきたい。

田切直売所計画の現状は

問 経営主体はだれで、建物の規模はどれくらいか。
町長 駐車場・休憩場所・トイレ・防災倉庫などは県施設として取り組む。

町長 拠点施設・直売加工・レストランなどは町施設として、農林漁村活性化プロジェクト交付金を活用し建設する。田切地区全員で出資し、住民主体で運営する。

じま」と同じような考えでいくべきだと思う。



三浦 寿美子

全国学力 テスト

公表にどう対応するか

文章で行う 教育委員長

5月の定例委員会で公表のあり方を審議した。調査の目的が学習指導の改善にあることや数値を競わない考え方を最優先とした。その結果、これまで通り、

5月の定例委員会で公表のあり方を審議した。調査の目的が学習指導の改善にあることや数値を競わない考え方を最優先とした。その結果、これまで通り、

5月の定例委員会で公表のあり方を審議した。調査の目的が学習指導の改善にあることや数値を競わない考え方を最優先とした。その結果、これまで通り、

5月の定例委員会で公表のあり方を審議した。調査の目的が学習指導の改善にあることや数値を競わない考え方を最優先とした。その結果、これまで通り、



体験を通して育まれる心

学校現場の実態をよく知って、多くの議論を重ね慎重に進めて欲しい。

学校現場の実態をよく知って、多くの議論を重ね慎重に進めて欲しい。

学校現場の実態をよく知って、多くの議論を重ね慎重に進めて欲しい。

学校現場の実態をよく知って、多くの議論を重ね慎重に進めて欲しい。

学校現場の実態をよく知って、多くの議論を重ね慎重に進めて欲しい。

学校現場の実態をよく知って、多くの議論を重ね慎重に進めて欲しい。

介護保険事業計画 策定の流れは

介護保険制度改正に向けた国の基本的な方針は定まっている。町の事業計画策定の年度である。進捗状況は。

国の方針を受け、町は県のスケジュールに合わせて、計画策定をして行く。県主催の担当者会議が7月に予定されている。その後「高齢社会等懇話会」に諮り、策定をして行く。

健康福祉課長 現在、国会で「地域医療と介護に関する法律」を審議中である。

秋に施設整備計画の会合が開かれ、それを受けて原案を作り検討する。12月議会前に議会へ説明の予定。年明けにパブリックコメントを求め、具体的な策定を進めたい。

〔以上2件質問〕



堀内 克美

第2県庁

歴史の町飯島に誘致を

住民意思を結集 町長

伊那市で3月に行われたタウンミーティングで、参加者から「南部に第2県庁を」の声があった。それに

対する知事の反応をどのように受け止めたか。町長 「県庁が遠いと

えには共感する。どうすればよいのか研究する必要がある。」と前向きともとれる発言であった。

問 飯島町の歴史と地理的要件をどう認識するか。

江戸時代には200年にわたり幕府直轄で飯島陣屋がおかれた。また明治4年までは伊那県庁として、藩の所領を除く長野県の範囲を支配し、政治経済の中心であった。しかし今は県の施設が何もない。

このことをどうとらえるか。

町長 廃藩置県により伊那県庁がおかれた歴史は、この地が重要な

位置にあったことを大変重く物語っている。

問 上下伊那の郡境で伊那谷の中央に位置する地理的条件を生かしては。

町長 辰野町の小野か



旧伊那県庁(飯島陣屋)

ら天龍村までが約95km、郡境の当町が中心となる。過去の歴史も考えるとよい位置と思う。

世紀の一大事業であるリニア新幹線対策を含め、県南部にぜひ第2県庁を設置してもらいたい。関係町村に隣接した当町が適地と考えるが町長の考えは。

町長 知事も、リニアや三遠南信道など南信の対策に理解を示している。

問 県の施設がない当町の現状から、強力な住民運動を展開し誘致を進める考えは。

町長 上下伊那・木曾地域の県議8名が愛知県東部庁舎を見学するなどの動きはある。しかし、まず第2県庁設置への知事の具体的な構想を確認する必要がある。一朝一夕にできるものではないが、南部地域の振興のため住民の力を借りて進めていきたい。

〔以上1件質問〕



竹沢 秀幸

柏木 グラウンド

屋外トイレの設置を 来年度設置したい 教育長



芝生化されるといいな

問 柏木グラウンドに屋外トイレの設置を。
教育長 柏木グラウンドは避難所に指定されており、災害時にも使用できる対応を考えている。

問 柏木グラウンドを天然芝に。
教育長 芝を張るだけでなく、排水や土地の構造などにより多額の費用が掛かるため、総合的に考えなければならぬ。維持には施肥や薬剤散布など小まめな管理と費用が必要。財源としてはサツ

問 公共施設長寿命化のための「町公共施設等総合管理計画」策定にどう取り組むか。
町長 平成24年度に今後10年間の建物の修繕計画を策定した。毎年実施計画のローリング作業に合わせて見直している。

問 大規模災害など有事に際して、住民の皆さんが厳しさに耐えていける物資の支援準備が今から必要では。
町長 ガソリンや灯油は、今回JA飯島スタンドが移転をすることに合わせて、具体的に協定を結ぶ。できればJA七久保スタンドも含めて協定したい。

そのほか大型量販店との協定なども検討したい。

公共施設管理 計画策定期間は

カーくじ（toto）の地域スポーツ振興助成などがあり、非常に魅力を感じる。B & Gのグラウンドを管理している総合型スポーツクラブとも協議していきたい。

災害物資等応援 協定の拡充を

問 大規模災害時、防災センターの備蓄食料の他に、民間の企業や団体から物資支援を受ける協定の締結が必要だが。

町長 LPガスは協会との間で、災害時における供給協力に関する協定がある。これ以外の、具体的な協定はできていない。

米俵マラソンに 後方支援を

問 第2回の米俵マラソンに後方支援を。

町長 県の地域発支援金を昨年から3年間受けられることになった。コメの消費拡大、俵文化の伝承など意義があり、全面的に協力したい。実行委員に職員が加わり、この運営の一助を担っている。

啓発は、広報や町のホームページで全国に発信していく体制を組んでいる。

問 お米を使った特産「こーめん（米麺）」プロジェクトの後方支援を。

町長 内容の理解を深めたうえで検討。（以上4件質問）



橋場 みどり

ふるさと大使

どのような貢献か

知名度を生かしてPR 町長

問 ふるさと大使制度を取り入れてから13年が経過し、現在は12人の大使がいる。一部の人の活動はよくわかるが、その他の大使の活動がわからないが。

町長 12人それぞれに違いは確かにあるが、多くの皆さんに活動を知ってもらっている。町は思っている。活動に差があるので全員とはいかないが、町全体に大使の意義・存在を知ってもらおう工夫が課題だ。

もいる。飯島町が用意した名刺を講演会・会議で活用、国内はもとより世界にPRしてもらっている。

中でも、ミステリー作家西村京太郎さんの「赤と白のメロデー」君は飯島町を知っているか」の小説化がある。津田令子大使に仲介してもらい、町を舞台にした題材が実現でき、大きな反響とインパクトを与えてもらった。

2番目には、特段のご指導・町政に対する考え方・情報発信の仕方など、活性化につながる意見をもらった。3番目には、3年ごとの定期的な意見懇談会で、提言・産業面での意見や仲介の労を取

ってもらっている。多くの貢献に感謝している。

問 大使の負担にならない程度にモチベーション

ョン・成果を上げるためにはそれなりのサポートも必要では。大使の紹介をホームページに載せるべきでは。

答 無報酬で善意にや



知ってほしい! いいじままちを

人口減少にどう 対処するか

問 近隣市町村と同じような取り組みをしているが、人口増につながらないのはなぜか。

町長 若い世代が極端に減ってしまうことは将来確実であろうと受け止めている。結婚・出産・育児環境を整え少子化に対応することは、国をあげて取り組んでもらわれないと自治体だけでは限界がある。この町に愛着を持つてもらえるような地域づくりを町民ともども考えてほしい。

問 町の良さをどうアピールするのか。

町長 いろいろな支援・施策で人口増対策を進めるのはもちろんだが、原点に帰ると開発のない原風景、雄大な自然景観がある。その中に人生観や自分なりの生活の意義を見出し、暮らしていく価値観を求める時代に移っていくと思う。それが飯島の住みやすさにつながっていくことは間違いないと確信している。

その点をいろいろな施策に併せ、アピールする必要がある。手法としては情報媒体を駆使し、ホームページ・ふるさと大使・全国の情報網など、いろいろな取り組みで広めていきたい。その価値観に共感し、来てもらった人の気持ちが続くと思うので精いっぱい意を注いでやっていく。

（以上2件質問）



浜田 稔

後期 基本計画

簡素で効果的な審議を より良い方法を考える 町長

町長 この間の国内外の変化は確かに大きい。自治体を破綻から守る思いで5次総の基本は維持したい。ただし人口目標も含め、10年計画全体に関わる意見も反映させながら、具体的な施策を盛り込んだ後期計画にしたい。

問 5次総策定直後に大震災があり、政交代や国際政治の大変化も生じた。後期計画は前期の単なる延長ではなく、町が直面している課題への具体策が求められていると思うが。

問 第5次総合計画の前期が来年度で終わる。進捗や課題の町長所見は。

町長 8本の柱と48の基本施策を掲げて取り組んできた。おおむね計画通りだが、後期計画の素案提出の頃までに町長としての所信を述べたい。

問 審議会の参加者から感想を聞いた。

「過去の総括や大局的な議論が不十分だった」という。膨大な素案の審議をせかされて、不完全燃焼というのが共通した感想だった。

当時の素案は123ページ8万字。過去の検証資料はA3で94ページの細かい表だが抽象的だ。

素案作成をやめて重点項目をあげ、具体的な審議に力を割くべきだ。毎年の行政報告書

自治基本条例は 慎重に

問 自治基本条例の制定を求める一般質問が過去に数回あった。以前は『理念先行で急ぐべきではない』との答弁だったが、その後

を検証資料に使い、前期計画に修正を施す方法を提案するが。

町長 全然違った角度からの発想で、そのようにはいかない。しかしより良い方法を内部で協議し考えたい。

『27年度に実現』に変わった。

議会としては条例制定の是非を討議も審議もしていないが、誰の要求に基づく何のための条例か。

町長 町民・自治組織・行政の役割分担が浸透し、懇談会で意見も出ている。議会議決ではないが前期基本計画にうたわれている。まちづくりの約束事を定めるものだ。転入者とのトラブル事例も念頭に制定を目指したい。

問 全国の事例を調べて見た。地方自治の精神を十分に反映したもののから、住民を束縛するもので、中身は千差万別だ。制定の期限を切る前に、住民の要求に沿っているか否かを十分論議すべきでは。

町長 住民を拘束し負担感があってはならない。だが権利と同時に義務も背負うべきで、その根拠を定めることは必要だ。熟議は必要だが5次総との整合を保って制定したい。

問 住民の権利に関わる条例を制定するのであれば、条例自体を住民投票にかけるべきでは。

町長 住民投票は大きい具体的事案の判断のため実施されるべき。自治基本条例は対象とを考えていない。

〔以上2件質問〕



折山 誠

町消滅報道

どう受け止める

消滅させない 町長

問 過日、日本創成会議が全国の市町村別の人口試算資料を公表した。当町20〜30代女性の人口が30年間で68%減少の可能性がある。県下77市町村中8番目に高い減少率である。町消滅が考えられるという報道をどう受け止めるか。

町長 人口減少の大きな警鐘と重く受け止めて今後の施策に反映していく。町の消滅はありえないし、消滅させないという全町民の強い意志と決意を持って取り組んでいかなければならない。

問 報道で町内に大きな衝撃が走った。後期計画の策定が迫

っている今、町民の受けた衝撃を、協働で計画を策定するエネルギーにすべきでは。

町長 今回の報道を逆手に取り、豊かな自然環境を背景とし、穏やかでゆったりとした暮らしのできる幸せをアピールしたい。またそのような価値観を共有できる人に移住してもらえよう、様々な取り組みを検討していきたい。

問 町の未来に思いを持つ人は多いが、まちづくり懇談会などに参加し発言する人は少ない。総合計画が町民間に浸透しない原因の一つと感じられる。民意の吸収と計画反映のた

め、懇談会の持ち方を抜本的に見直すよう提案するが。

町長 住民の思いを吸い上げ計画をまとめていく。『4区懇談会形式だけでいいのか、あるいは全耕地・自治会単位にするべきか。』という整理も必要。多人数ではなかなか意見が出ない。思ったことをストレートに表現できる場づくりとして分散会形式も有効ではないかと思う。意見の出しやすい懇談会の持ち方を検討しなければなら

問 来秋、後期計画策定の山場に次期町長選挙が重なる。計画の完成と公表次期は。

町長 来年9月議会で議決を得て公表する予定。

問 任期後の計画を策定するという微妙なタイミングだがどう臨むか。

町長 行政には継続性が求められる。今後の町のあり方・姿をみんなで作る集大成したものが計画である。任期後にそれがどう取り組んでも町民の思いは変わるものではない。したがって町長の任期と計画策定は切り離して考えるべきものと思う。

遊ばせる場所に苦勞した。支援センターの若いお母さんの中に入っているのは抵抗があり、地域に公園を整備してほしい。』とのこと。

子育て女性の社会進出を促す環境づくりにもつながるので、「動物とのふれあい児童遊園」を提案する。ある都市で公園の除草管理を目的にヤギを放したら、ふれあいを求め利

用者が増え、除草効果も抜群だったとか。町内には適地もあり、後期計画で検討されたい。

教育長 教育委員会では、子どもの発達に合わせた情報を持つている。地域の児童遊園整備は、皆さんに様々なアイデアを提供してもらい一緒に考えていきたい。

〔以上1件質問〕



近づく人に遊んでメー!



追跡

あれどうなった

一般質問・審査での意見・請願陳情その後の行方

平成24年9月定例会 一般質問

問 国の地域おこし協力隊制度で、都会の若い力を。
答 来年度導入に向け取り組みたい。

その後

平成26年4月

3人の地域おこし協力隊員を採用。



平成24年度12月定例会 一般質問

問 介護保険を利用したリフォームなどに、受領委託払いで一時負担の緩和を。
答 最も良い方法で対応したい。

その後

平成25年4月

全額立て替えから自己負担分のみ支払いが可能に。

平成25年6月定例会 一般質問

問 福祉タクシー券の適用拡大を。(年齢の引き下げ・日中独居高齢者にも)
答 平成26年度から交付枚数も含め事業拡大をしたい。

その後

平成26年4月

対象年齢を75歳から65歳に引き下げた。新たに日中独居高齢者(条件有り)にも拡大。



ひとこと広場

あれどうなった? 良い増強は出会いの場を造る事が大事と思う。

クイズがめざましと知り初めて挑戦してみました。

いろいろのことが書いてあっておもしろい。

いいいま、まじっくクラブがっけいにかんぱうしました。たのしかったです。

写真がめざまし。色とりどり。

議会の内情が気になるので、いろいろと聞いてみたいです。



本多 昇

定住促進

先手のまちづくりを

取り組んでいく町長

問 ベッドタウンになるよう「地の利を生かしたまちづくり」をすすめては。「住宅地は飯島町」と言われるよう、住民・高齢者が安心して暮らせる先手のまちづくりを始めるべきだ。

町長 ベッドタウンとして町を売り出し、定住人口を増やしていくことは重要な視点だ。道路状況の充実・自然環境・職場・子育て・福祉など、総合的に一歩進めた施策で官民一体の取り組みを実現していきたい。

問 知名度をアップし「住みたいまち」にするためには施設の充実が欠かせない。

具体的提案をする。
① 柏木運動場を拡張し、サッカー専用グラウンドに。
② 本郷運動場を拡張し、多目的グラウンドに。
③ 与田切公園に多目的グラウンドを建設。
④ 与田切公園にスケートボード場を建設。
⑤ 与田切リバーサイド計画の復活。



拡張を望む柏木運動場

町長 費用対効果の上に立って考えていかなければならない。
① サッカーの公式戦・公式練習場は大変ハードルが高い。
② 拡張にはトイレなど設備が必要で利用実態を考えると厳しい。
③ ④ 用地取得が難しかった経過がある。今の与田切公園の機能を最大限発揮し、当分現状で続けていく。
⑤ 部分的ではあるが計画に近い形で整備され、住民の参加で背後地を利用している。

行財政改革
目標の達成は
町長 人件費を平成27年度までに8億円以下にする目標数値の根拠は、

空き家などの調査結果は

町長 当初計画に無かった議員年金法改革で2300万円の公費負担となつていいることもあり、8億円の達成は難しい。
しかし26年度を下回ることは確実。

町長 職員給与は、目標体制100人の定員管理計画に基づき、減額を見込んで設定した。
問 25年度決算の人件費の見込み額は。
町長 約8億1千万円の見込み。

町長 調査結果は、空き家総数191(飯島88・田切22・本郷23・七久保58)うち危険建物数21(飯島12・田切2・本郷2・七久保5)であった。
また、危険建物が数地外へ危害を及ぼす状態でないことを確認した。

通学路にグリーンベルトを

問 歩道が整備されていない道路の路側帯にグリーンベルト設置を。
町長 町では幹線道路を中心に歩道整備を進めている。路線を定めグリーンベルト設置を計画的に進めていく。
〔以上4件質問〕

町民の声を 議会へ

このページは町民の皆さんに取材協力
願い、町政や議会への意見や感想を掲載
しています。

今回は「南駒里山クラブ」代表
堀越寛満さんに登場していただきます。

山の魅力をまちづくりに

今年「信州山の日」が
制定され、飯島町では、
傘山(1542m)を中
心に山に親しむ行事が
行われます。山の日
機に飯島の山の魅力
を考えましょう。



いいじまの里山 「傘山」が人気!

この二年間で傘山登
山者が急増しています。
南駒里山クラブの活動
を通して、伊那谷各地
や愛知・岐阜・静岡な
どから登山に訪れる人
たちに感想を聞きました。

多くの人が傘山には
他の山にない魅力があ
ると言います。

それは傘山頂上から
の展望の素晴らしさ。
中央アルプス南駒ヶ岳
や仙崖嶺など雄大な山
肌を間近に見られるの
が最大の魅力。南アル
プスの山々も全て見ら
れ、眼下の伊那谷風景
も最高レベルだと言
います。

傘山の山頂ノートに
は、多くの人が「近い
ところにこんないい山
があるとは知らなかつ
た、登山道は歩きやす

い、またくるよ」と書
き残しています。傘山
に登った人は「いい山
だ、いい山だ」と連発
してくれそうです。

南駒里山クラブの 活動

南駒里山クラブは、
南駒のふもとで里山登
山道を整備し、多くの
人たちが山歩きを楽し
めるよう、自分たちも
トレッキングを楽しも
うと、平成24年に発足。
年10回以上の整備を行
っています。

また、傘山や伊那谷
の里山を今年は8回歩
いて楽しみます。会員
は現在66人、初めて山
歩きをした人も入会
歓迎です。山歩きは健
康に理想的なスポーツ。
健康・長寿のために山
歩きを始めましょう。

町と議会に望むこと

南駒里山クラブは傘
山を一流の里山にした
い、いいじまの山の魅

議会だよりクイズ
正解者5人の方にいいちゃん商品券を差し上げます。
応募の締め切りは8月末、発表は発送をもって代え
させていただきます。

若者定住型アパートには
空き室があるかな?
答 A 満室 B 空きは9室ある
で意見など
住所・氏名・年齢

(ハガキ・FAX・いい
ちゃんポストで)
飯島町役場議会事務局
議会だよりクイズ係宛



編集後記

6月定例会では
はじめて告知ポス
ターを町内に貼ら
せてもらいました。
ご覧いただけまし
たか? 18人が傍聴
に訪れ、うち3人
はポスターを見て
きたとのことでした。

発行責任者

議長 松下寿雄
編集委員

◎中村 ○浜田
・本多・久保島
・橋場・折山